

中央卸売市場会計（令和4年度）

（1）財政状況

市場事業は、地方公営企業法の財務規定等の一部適用事業として、独立採算を原則に運営している。

市場会計は、昭和47年度から平成元年度まで経常損益での赤字が続き、昭和63年度の旧神田市場等の跡地売却に伴う受取利息の増加により、平成2年度から平成6年度まで黒字となったが、営業費用の増加と受取利息の低下などにより、平成7年度に再び赤字となり、それ以後、赤字幅が拡大した。

このため、今後の施設整備財源を確保し、市場財政の健全化を図るため、経費節減等事業の効率的運営を徹底するとともに、平成12年4月に16%（12年度8%、13年度14%、14年度16%の段階的实施）の使用料改定を行い、平成19年度に企業債繰上償還による支払利息の圧縮を行った。こうした取組により、平成12年度から平成27年度にかけて黒字で推移してきたが、平成28年度以降は、豊洲市場への移転準備経費の増加や豊洲市場の減価償却費等の影響などにより、赤字となっている。

こうした状況の中、中央卸売市場が都民に生鮮品等を円滑かつ安定的に供給する基幹的なインフラとしての役割を、将来にわたって果たすことができるよう、今後の市場経営のビジョンを示すものとして、令和3年3月に東京都中央卸売市場経営指針を策定した。また、令和4年3月に、指針で掲げた「2040年代の中央卸売市場の姿」及び「持続可能な市場経営」の実現に向けて、令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とし、都が取り組む施策と財政計画を示す中期経営計画である、東京都中央卸売市場経営計画を策定したところである。

今後は、東京都中央卸売市場経営指針及び東京都中央卸売市場経営計画に基づき、遅くとも2040年代の経常収支黒字化に向けた取組を推進し、持続可能な市場経営を実現していく。

（2）令和4年度予算概要

中央卸売市場は、消費者ニーズの多様化や流通環境の変化、新型コロナウイルス感染症のような新たなリスクへの対応など、卸売市場を取り巻く環境が大きく変化する中であっても、都民の日常生活に不可欠な生鮮品等の円滑な流通と安定した供給を確保するため、重要な役割を担っている。このため、各市場の現場における日々の課題解決と、東京都中央卸売市場経営計画の着実な推進を図るため、令和4年度予算においても限られた財源を重点的、効率的に配分して市場の抱える重要課題に対応できるものとした。

支出予算の総額は、541億6千6百万円で、令和3年度に比べ29.2%、金額で122億4千9百万円の増加となっている。

収益的収入と資本的収入の合計額は、224億7千万円となっており、収入と支出の差し引きでは316億9千6百万円の支出超過となっている。

ア 収益的収支

収入としては、営業収益が174億4千万余円で、内訳は、売上高割使用料が35億8千9百万余円、施設使用料が89億8千8百万余円となっている。

営業外収益は、50億2千9百万余円で、内訳は、一般会計補助金が29億9千6百万円、受取利息等が20億3千3百万余円、となっている。

これら営業収益、営業外収益を合わせた収益的収入の合計は、224億7千万円である。

支出については、市場事業費の総額が434億7千5百万円で、そのうち、営業費用が328億8千3百万余円である。

営業費用のうち、人件費及び一般管理等に要する経費である管理費が186億5千1百万余円、業務の指導・監督及び生鮮食料品の統計資料作成等の経費である業務費については、1億7千

万余円である。

減価償却費、資産減耗費は、固定資産の減価償却及び除却損等を計上し、140億6千1百万円である。

営業外費用は、31億3千4百万円であり、このうち、生鮮食料品の流通の安定及び消費者への食生活情報の提供等に要する経費である生鮮食料品流通対策費が、16億4千3百万円となっている。

支払利息及企業債取扱諸費は、9億9千5百万円で、その他、繰延勘定償却、消費税及地方消費税、雑支出を計上した。また、特別損失を74億5千5百万円計上している。

イ 資本的収支

収入は、計上していない。

支出は、市場施設の整備等に要する経費であり、総額は106億9千1百万円である。

このうち、建設改良費は38億8千8百万円であり、内訳は施設拡張費が2億8千5百万円、施設改良費が35億8千1百万円、工器具・備品等の購入に充てる資産購入費が2千1百万円である。

今年度予算で計上した市場別の主な施設整備内容は以下のとおりである。

市場名	内 容
豊洲市場	壁面緑化改修工事
食肉市場	市場棟北側冷蔵庫改修工事
大田市場	事務棟非常用エレベーター改修工事
豊島市場	1・4号館トイレ改修工事修正設計
淀橋市場	淀橋市場施設整備事業基本設計、低温卸売場整備工事（第2期）
足立市場	路面舗装改修工事
板橋市場	屋外トイレ改修工事
世田谷市場	青果仲卸売場照明器具取替工事
北足立市場	青果棟屋根改修工事
多摩ニュータウン市場	仲卸売場特定天井対策・照明器具更新工事实施設計
葛西市場	花き棟金属屋根改修工事

その他、企業債償還金が67億8千4百万円、投資が9百万円、国庫補助金返納金が9百万円である。

(3) 令和4年度中央卸売市場会計予算総括表

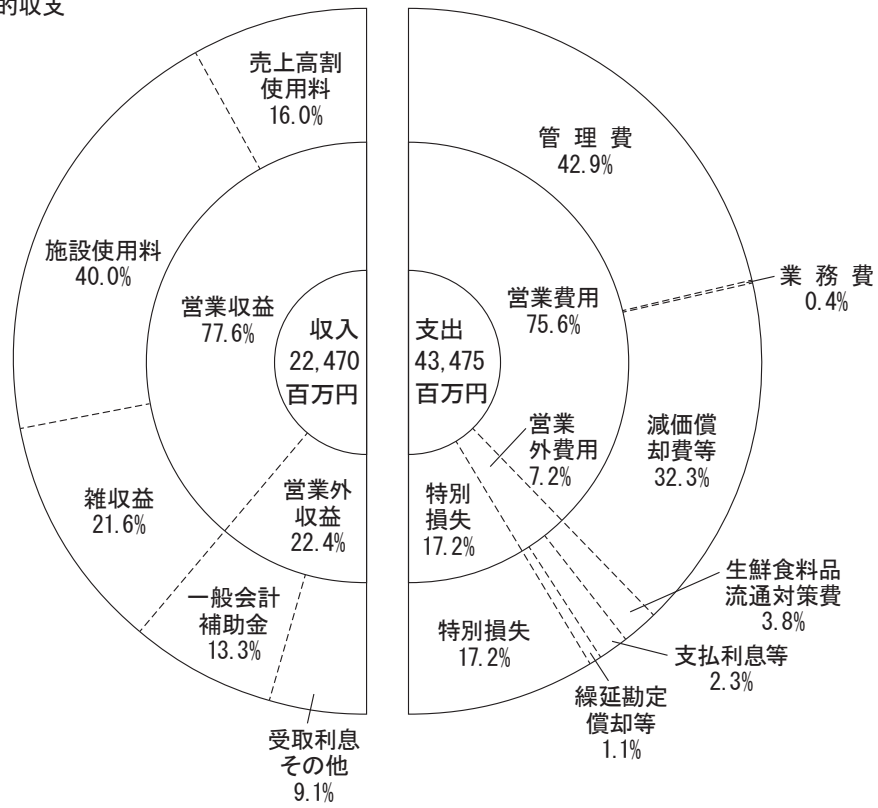
(単位：千円)

科		目	令和4年度 当初予定額	令和3年度 当初予定額	増(△)減	
収 益 的 収 支	収 入	営業 収益	売上高割使用料	3,589,937	3,650,870	△ 60,933
			施設使用料	8,988,063	8,968,130	19,933
			雑収益	4,862,548	5,142,040	△ 279,492
			計	17,440,548	17,761,040	△ 320,492
	営業 外 収益	一般会計補助金	2,996,000	3,142,000	△ 146,000	
		受取利息その他	2,033,452	1,934,960	98,492	
		計	5,029,452	5,076,960	△ 47,508	
	特別利益	0	0	0		
	合計	22,470,000	22,838,000	△ 368,000		
	支 出	営業 費用	管理費	18,651,544	19,117,465	△ 465,921
			業務費	170,086	181,108	△ 11,022
			減価償却費等	14,061,882	14,113,360	△ 51,478
			計	32,883,512	33,411,933	△ 528,421
		営業 外 費用	生鮮食料品流通対策費	1,643,292	1,768,733	△ 125,441
支払利息及企業債取扱諸費			995,906	1,000,096	△ 4,190	
繰延勘定償却等			495,607	279,738	215,869	
計			3,134,805	3,048,567	86,238	
予備費		1,000	1,000	0		
特別損失		7,455,683	449,500	7,006,183		
合計	43,475,000	36,911,000	6,564,000			
収支差引額	△ 21,005,000	△ 14,073,000	△ 6,932,000			
資 本 的 収 支	収 入	企業債	0	0	0	
		一般会計出資金	0	0	0	
		国庫補助金	0	0	0	
		その他資本収入	0	0	0	
		計	0	0	0	
	支 出	建設改良費	3,888,457	4,825,457	△ 937,000	
		企業債償還金	6,784,000	0	6,784,000	
		投資	9,000	171,000	△ 162,000	
		国庫補助金返納金等	9,543	9,543	0	
		計	10,691,000	5,006,000	5,685,000	
収支差引額	△ 10,691,000	△ 5,006,000	△ 5,685,000			

(注)資本的収入が、資本的支出に対し不足する額は、〔損益勘定留保資金その他〕をもって補てんする。

(4) 令和4年度中央卸売市場会計予算の構成割合

ア 収益的収支



イ 資本的収支

